

共同利用・共同研究課題「アイヌ語現地調査資料のアーカイブズ構築にかんする学際的研究(2)」2021年度第1回研究会(通算第1回目)

2021年8月28日(土)9:00-17:00; オンラインにて開催

本共同研究課題のキックオフミーティングとなる今研究会では、6件の発表と、発表に関する質疑応答・情報提供、今後の共同研究の活動に関する全体討論を行った。当日のプログラムは以下のものである。

9:00-9:10 奥田統己(AA研共同研究員, 札幌学院大学)

開会, 趣旨説明

9:10-10:00 阪口諒(AA研共同研究員, 千葉大学大学院)

「アイヌ語の語彙集を作成するー『アイヌ民譚集』を事例として」

10:10-11:00 欠ヶ端和也(AA研共同研究員, 千葉大学大学院)

「資料整理と活用を考えるー千葉大学所蔵『金田一京助アイヌ語スクラップブック』を整理してー」

11:10-12:00 吉川佳見(AA研共同研究員, 北海道博物館研究職員)

「AA研所蔵のアイヌ語フィールドノートの整理に向けて:『アイヌ語沙流方言辞典』との対応関係(2)」

13:00-13:50 深澤美香(AA研共同研究員, 国立アイヌ民族博物館研究員)

「AA研所蔵のアイヌ語フィールドノートの整理に向けて:美幌方言調査を中心に(6)」

14:00-14:50 小林美紀(AA研共同研究員, 国立アイヌ民族博物館研究員)

「AA研所蔵のアイヌ語フィールドノートの整理に向けて:沙流方言調査を中心に(5)」

15:10-16:00 児島恭子(AA研共同研究員, 札幌学院大学)

「研究者アーカイブの選択肢ー①「田村すゞ子採録アイヌ語(音声)資料」か, ②「田村すゞ子アイヌ語研究資料」か, ③の可能性かー」

16:10-17:00 全員

総合討論, 田村すゞ子資料整理プロジェクトの成果と展望

アイヌ語現地調査資料の整理と活用に関して、それぞれ以下のような報告が行われた。

既存資料の活用事例について:

阪口からは『アイヌ民譚集』を活用とした語彙集作成に関する報告、欠ヶ端からは千葉大学所蔵資料の整理に携わった経験から、その整理手順と活用方法に関する事例報告がそれぞれなされた。

AA研所蔵アイヌ語現地調査資料に関して:

第1期から継続してフィールドノート整理をおこなっている深澤・小林からは、各方言

調査資料の進捗状況報告、同じく一次資料整理をおこなう吉川からは『アイヌ語沙流方言辞典』と、その基盤となった修士論文等の資料との対応関係に関する報告がそれぞれなされた。さらに兎島からは、今後構築を試みるアーカイブズのありかたに関する問題提起と提案がなされた。

以上の報告をふまえ、総合討論では第 2 期の活動の目標を確認し、どのような形で成果として公刊していくことがよいのかという点を中心に議論した。

※当報告の内容は、報告者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.